



# KAMIGO

～since2015～

上郷中だより 第5-10号  
令和6年 1月26日  
横浜市立上郷中学校  
横浜市栄区犬山町6-2  
電話(892)2478

**「個々の努力が発揮できるかどうか、それは全体の雰囲気が大きく関わります」**

校長 勝 俊一

暖冬と言われますが朝夕の気温はやはり厳しく感じます。

辰の年を迎えて早々に能登半島で大きな地震がおきました。翌日には羽田空港で航空機同士の事故もおきました。お亡くなりになられた方々、そのご家族、ご親族、関係者の方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被害を受けた皆さま、避難生活を続けられている皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また、救急救命や復旧活動に尽力されている皆さまに感謝いたします。上郷中学校でも募金活動が行われ、たくさんの生徒が協力してくれています。被災地の方々の日常が一刻も早く取り戻せるよう祈念しております。

発災後120時間以上たった被災地で、倒壊した建物の中から人命が救われたことが大きく報道されました。救助に携われた医師の SNS 投稿には、救助されるまで頑張られた方への敬意と「訓練を重ねてきて良かった」と書かれていました。倒壊している建物へ自ら出向き、危険と背中合わせの状況で医療活動を行う空飛ぶ捜索医療団所属の医師ですから、厳しい環境下で救命医療を行う訓練を重ね、救助当日も消防などと密に意思疎通を行ったことが救出を実現させたのだなと思いました。

また、羽田空港での事故がテレビに映し出されたとき、炎に包まれる機体を目の当たりにして唖然としました。テレビに“乗客・乗務員は全員脱出済み”のテロップが流れたときには本当に安堵しました。その後の報道で、航空会社では万が一の事故に備えて乗客を素早く航空機から降ろす訓練が繰り返し行われていることが紹介され、それらの訓練の成果によって実現した脱出だったことが分かりました。また、事故発生時から飛行機を脱出する間に撮影された動画も報道されました。そこには緊迫した状況にもかかわらず的確な指示を行う乗務員と、その指示を乗客同士が呼びかけ合って皆が命を守る行動を取れるよう促す様子が映っていました。

倒壊した建物の中から被災者が救助されたこと、短時間で乗客全員が事故機から離れることができたこと、2つの出来事は“奇跡”として世界中で報道され称賛されました。しかし、その時に備えた訓練、その成果を発揮できる心構え、関わることになった者同士の適切な声のかけ合いによって成し得たことであって、決して偶然に起きた事ではなかったと分かりました。

令和5年度もあとなわすかの月日となり、私たちの学校生活も、一つ一つの活動に対してしっかりと目標を持ち、目標を成就するための準備を怠らず、活動に参加する者同士が目標に向かって一つになれる雰囲気を互いに作っていくことが大切だと改めて感じました。

入試制度や志願手続きが大きく変更された中、3年生は希望する進路への挑戦がいよいよ始まっています。2年生も卒業後の進路に係る学習面の資料がはかられる大事な時期を迎えました。この時期は1年生にとっても、中学校生活に慣れ、気のゆるみが取組へのモチベーション低下に繋がりがやすいと言われます。一人ひとは、今何を頑張るべきか、それは十分に理解できていると思います。分かっていることに個々が努力の成果を発揮できるかどうか、それは全体の雰囲気がどのようであるかに大きく左右される気がします。学校に集まる者同士、呼びかけ合って互いに力を発揮できる雰囲気を作っていってほしいと思います。個々が必要なことをしっかりと理解し、やるべきことは分かっているよとそれぞれが表現する、それが皆の努力の成果を発揮しやすい雰囲気を作っていきます。この流れは上郷中に通う生徒の皆さんにとっては、得意中の得意なのではないかと信じています。

12月19日(火)、上郷小学校にて上郷中・上郷小・庄戸小の3校合同で子どもサミットが行われました。7月のサミットでは、子ども憲章の「いきる」から、どんな活動ができるかを話し合い、12月のサミットでは、各学校で取り組んだ活動についての報告と来年度に向けての活動案をグループで考えました。

上郷中学校の活動報告では、  
「い」:「いじめをなくす」に繋がる、  
縦割りレクリエーションの  
「プランK X SDGs」について発表しました。



来年度は、上郷中学校でどのような活動に取り組むとよいでしょうか。

子ども憲章は、これまでの歴代の先輩方が「居心地のよい学校づくりの達成のために」と一生懸命考えて、つくり上げられたのです。これからも「いきる」の意味をしっかりと考えながら、想いを繋ぎ、達成に向けた活動を行っていきましょう。



上郷中ブロック子ども憲章

誰にとっても居心地のよい学校・地域づくりのために、この憲章を定める。

「**い** **き** **る**」 **力** 心をうるおす はじめの一滴」

- い いじめをなくす
- き きれいな環境を保つ
- る ルールを守る

わたしたちは、みんなを大切に、いじめをなくします。  
わたしたちは、学校や地域の、美しい環境を保ちます。  
わたしたちは、社会の一員として、きまりを守ります。

小・中学校9年間を通し、大切に守ります。  
令和4年3月24日  
上郷小学校・庄戸小学校・上郷中学校



記念樹の「みかんの木」も  
大切に育てていきましょう。

上郷中学校では、冬休みの宿題として毎年書き初めに取り組んでいます。国語の授業の中で、自分の今年の目標に合う言葉を chrome book で調べ、練習し、冬休みに気持ちを込めて作品を仕上げました。半紙よりも大きな紙に書いた作品は教室に展示され、素晴らしい新年のスタートとなりました。その中でも特に素晴らしい作品を横浜市立学校総合文化祭、栄区書写巡回展に出展しています。

なお、栄区書写巡回展は2月1日（金）～2月5日（月）です。本校“なかよしコーナー”に展示されます。

《横浜市立学校総合文化祭》

3年1組 櫻井 菜都美さん

《栄区書写巡回展》

3年4組 高橋 由莉杏さん

2年4組 園田 夕殊さん

1年2組 山口 寧月さん

《校内書写展》

3年3組 大口 愛理さん

2年1組 中島 晴希さん



## 認知症サポーター養成講座

1年 総合学習

1年生は12月14日（木）、総合学習で福祉教育の一環として、野七里地域ケアプラザおよび認知症サポーターキャラバンの方にご協力いただき「認知症サポーター養成講座」を実施しました。認知症に関する講義を受けた後、町中で認知症の方に出会ったらどうすればよいかを、グループワークで考えました。説明の中では、キャラバンメイトさんが道に迷ってしまった認知症の方の役を演じてくださり、生徒たちはより理解が深まったようでした。

実施後、生徒からは「少しの工夫でお互いが安心して過ごせることが分かったので、困った様子の高齢者の方を見たら講座を思い出したい。」「自分たちの地域では高齢化が進んでいるので、地域の人と関わるイベントなどに積極的に参加し、挨拶などで日々のコミュニケーションを大切にしていきたい。」「認知症の家族がいるので、学んだことを実践したい。」などの感想がありました。この授業で学んだことを、日々の暮らしや地域の中で生かしていけることを期待しています。



## 募金のご協力ありがとうございました。

## 福祉委員会

私たち福祉委員会は、能登半島で発生した地震被害に対し、被災地の一日も早い復旧・復興を願い1月23日から26日まで校内で、募金活動を実施しました。

皆さんからお預かりした募金は、栄区役所を通じて被災地へ届けます。



ご協力いただきありがとうございました。

## スクールカウンセラー相談予定日

石井孝子先生の来校日をお知らせします。

相談を希望される場合は、事前に連絡をお願いします。不明な点等ございましたら、生徒指導専任教諭 木村 までご連絡ください。

上郷中学校電話番号：892-2478 相談場所：心の相談室・教育相談室

相談日：2月7日（水）、21日（水）、28日（水）



## 来月以降の主な予定

2月 2日（金）	3年学年末試験	14日（水）～19日（月）	3年共通選抜
5日（月）	生徒朝会	20日（火）	共通選抜追試験
7日（水）	個別支援学級栄区交流会 新入生保護者説明会	21日（水）	3年卒業遠足
8日（木）	1年生喫煙防止教室	22日（木）	1年職業講話（5・6校時）
8日（木）～13日（火）	放課後学び場事業	27日（火）	1・2年保護者進路説明会
10日（土）	3年私立一般入試・発表	28日（水）	共通選抜合格発表
14日（水）～16日（金）	1・2年学年末試験	3月 4日（月）	朝会 お別れ会
		12日（火）	第9回卒業証書授与式
		25日（月）	修了式

## SAKAE ヤングフェスティバル SDGs フリマ販売品大募集!!

3月17日（日）本郷台駅前広場で実施する SAKAE ヤングフェスティバルに、今年度も参加します!

上郷中ブースでは、SDGsフリーマーケットと缶バッジづくりを昨年同様実施!!

SDGsフリーマーケットで販売する家庭内の『役立つ』不用品をぜひご提供ください!

回収期間:2月20日（火）～22日（木） 回収場所:職員室横コーナー

おススメのもの:未使用の文房具・ハンカチ・業者名入りタオル、きれいなベストセラー本・フィギュア など

回収できないもの:食べ物、電化製品、手作りのもの、使用感のあるおもちゃ など